

美智子からのお便り

六月市議会で初質問に立ちました

二十一日、三項目について一般質問を行いました。
 一、介護従事者不足への実効ある対策を要望

厚生労働省推計で6年後の介護従事者不足が全国で34万人、千葉県は2万8千人・充足率は約74%と全国最下位です。しかし、現時点の不足数が県も、市も把握されていません。

先ずは、不足数の把握を市独自でも行うことが必要ではないかと提案しました。また、市内の特養ホームが職員不足で休館になっている深刻な事例をあげて市の支援を要望しました。



5月30日特養ホーム待機者ゼロの会と共に福祉部と懇談

現在、市が実施している

初任者研修助成を奨学金制度へ拡充できないかと提案しました。県知事が、介護人材をベトナムなどから受け入れると精力的にトップセールスを行っています。安易に外国に求めるのは問題があるのではないかと市の対応を問いました。

「県の動向を注視していく」と福祉部長から答弁がありました。

一、ヘルプマーク普及促進を要望

(写真右)

利用者から近隣市並みの配布場所の拡大や、市民への周知の要請がありました。

昨年の市議会で「普及促進を求める意見書」が全会一致で採択されました。

一年が経過しましたがほとんど進展がみられません。近隣市では国や県からの指示待ちでない独自努力をしています。それらを参考に、市の障がい者施策の推進を要望しました。

三、京成電鉄鬼越駅の自転車置き場の問題解決を要望

(写真下)

現在、三百台以上の自転車置き場が置かれている鬼越駅線路沿いは市指定駐輪場ではありません。放置禁止区



域でもなく、京成電鉄所有の土地、公衆用道路です。駅周辺の良好な環境を保つためにシルバー人材の「街頭指導員」に業務を委ねています。

しかし、救急車やゴミ収集車の通行も妨げられています。

鬼越駅自転車置き場の抜本的な対策を要望しました。また、指導員は息つく場所もなく、熱中症の不安も抱えながら業務をしています。

指導員の健康面への配慮を要望しました。駅の一角に小屋のようなものができないか京成電鉄と協議していくと答弁がありました。



安倍政権さよならの道筋を一緒に切り開きましょう！

(日本共産党参議院千葉選挙区予定候補の浅野ふみ子さんの横にいるのが私です。)

命と暮らしを守るために十月からの消費税増税は中止、武器の爆買いを止め、軍事費を教育・福祉・医療や介護の予算に回せ！浅野ふみ子さんの迫力ある訴えです。消費税増税に頼らない別の道で7・5兆円の財源を確保し、暮らしに希望を三つのプランを示した日本共産党の「おにぎりピラ」が好評です。

8月無料法律相談会 8月6日(火)

午後2時～5時
 担当弁護士：井出達希
 場所：市役所仮本庁舎

相談を希望される方は事前予約が必要です。
 日本共産党市議会議員、または市役所
 TEL334-1111共産党控室にご連絡ください。

ママ一本をよんで

メディアパークの前庭に佇む母子像です。(写真左)
 子ども図書館がある施設にぴったりの作品です。

作者は市川の名誉市民、彫刻家の大須賀力です。市川の野外彫刻には彼の作品が多くあります。讀市川・時の流れ・回想や蒼空へ自由・愛・平和などです。人々のいのちの安全と、安らぎへの祈りを込めたオマージュです。

